

広告デザイン専門学校 2025年度 後期シラバス

もくじ

※科目名クリックでページに移動します

1年

ビジュアルデザイン専攻	
P4	ビジュアルデザイン1A（岩田和樹先生）
P5	ビジュアルデザイン1B（星野公作先生）

マーケティングデザイン専攻	
P6	マーケティングデザイン1（安藤誠一郎先生）
P7	コミュニケーションデザイン1（森俊博先生）

共通科目	
P8	デスクトップパブリッシング1A（太田米香先生）
P9	デスクトップパブリッシング1B（福元紀子先生）
P10	ロジカルシンキング（佐伯陽介先生）
P11	フォトレタッチ（安藤誠一郎先生）
P12	WEBデザイン1（酒井陽一先生）
P13	モーショングラフィックス（浅野禎之先生）
P14	エディトリアルデザイン（中山雅人先生）

2年

ビジュアルデザイン専攻	
P16	卒業制作（岩田和樹先生）
P17	ビジュアルデザイン2B（星野公作先生）
P18	セールスプロモーション（戸谷吉希先生）
P19	インフォグラフィックス（山岸美紗先生）
P20	デスクトップパブリッシング2（太田米香先生）

マーケティングデザイン専攻	
P21	卒業制作（安藤誠一郎先生）
P22	ソーシャルデザイン（清水夏樹先生）
P23	ブランディングデザイン（渡辺恭良先生）
P24	ユーザーインターフェイス（向井真人先生）
P25	デスクトップパブリッシング2（福元紀子先生）

共通科目	
P26	コピーライティング2（大原純子先生）
P27	産学連携（安藤誠一郎先生）

広告デザイン科1年次・ビジュアルデザイン科

広告デザイン専門学校 2025年度 後期シラバス							
授業年度	2025	学年	1	グループ	選択	曜日時限	火曜午前・木曜午後
授業科目	ビジュアルデザイン1A（ビジュアルデザイン専攻）					単位数	2
担当教員	岩田和樹					教室	2階教室orA303教室
授業形態	実技・講義					科目系統	実践科目
授業目標	観点	① ② ③ ④		①知識・理解 ②思考・判断 ③関心・意欲 ④技能・表現 ⑤その他			
	グラフィック、パッケージや空間…、広告のデザイン表現全般に於いて、現在、最も重視されている分野が「タイポグラフィ」である。ベーシックな範囲から理解し、技能へと結びつける。 後半：1年次修了制作＝公共問題をテーマとしたPSAを通し、デザイナーとしての伝達技術を学ぶ。						
授業計画方法	タイポグラフィは「文字→記号→カタチ」と広がるビジュアルコミュニケーションだ。実際に考案・制作を通して、ベーシックなデザイン表現への自信を深める。 タイポグラフィ・修了制作共に、制作上必要不可欠な「デザイナーズ・ワークフロー」を身につける。						
回/セクション	授業内容・方法						
1	1週目）科目「VD1」課題「タイポグラフィ・ベーシック」ガイダンス・オリエン						
2	2週目）グリッドデザインシステム						
3	3週目）AtoZの発案・展開案の発案①						
4	4週目）AtoZの発案・展開案の発案② ◎発案共に決定						
5	制作①						
6	制作②						
7	制作③						
8	制作④ 講評会・作品提出						
9	9週目）課題「1年次修了制作」ガイダンス・オリエン						
10	10週目）考案・発案①②						
11	11週目）考案・発案③④						
12	12週目）制作						
13	13週目）制作						
14	14週目）制作						
15	15週目）ポリッシュアップ制作 ※1月中に制作終了						
評価方法	評価基準	④ ⑤		①筆記試験 ②口述試験 ③レポート審査 ④作品・技術審査 ⑤その他			
	課題「タイポグラフィ・ベーシック」＝50％ 修了制作／50％（共に、プロセス点と最終作品の平均点から課題の評価を行う）						
教科書	「タイポグラフィ・ベーシック」「グラフィックデザイン・イン・ジャパン（事務局又は2階図書コーナー）」						
参考書	適時、関連資料を提供						
備考	メッセージ、オフィシアワー						
	本校の「タイポグラフィ学習」は、中部圏2年課程の専修学校の中でも、4大生に通じる内容を提供している。その分、本気でデザイナーになる目標がある者はタイポグラフィは必須技能のため、有意義な学びにつながるだろう。						

広告デザイン専門学校 2025年度 後期シラバス							
授業年度	2025	学年	1	グループ	選択	曜日時限	月曜午後
授業科目	ビジュアルデザイン1B（ビジュアルデザイン専攻）					単位数	1
担当教員	星野公作					教室	2階教室orA303教室
授業形態	演習・実習					科目系統	専門科目
授業目標	観点	4		①知識・理解 ②思考・判断 ③関心・意欲 ④技能・表現 ⑤その他			
	今あなたが使っている物はどこかで購入したものです。私たちは消費者として数ある商品の中から「何かいいな」と思いそれを選んでいきます。その「何か」を解き明かし、人の心を動かす魅力のあるパッケージデザインの制作を学んでいきます。						
授業計画方法	「課題発表→リサーチ→案出し→毎週チェック→制作→プレゼン」という流れで3課題、制作していただきます。						
回/セクション	授業内容・方法						
1	授業ガイダンス／指向性、導入課題（9.29）						
2	【第1課題／箱物のデザイン】課題発表、導入、リサーチ（10.6）						
3	制作2（10.20）						
4	制作3（10.27）						
5	〇プレゼンテーション、講評(11.10)						
6	【第2課題／アイスクリームのPKデザイン】課題発表、導入、リサーチ（11.17）						
7	制作2（12.1）						
8	制作3（12.8）						
9	制作4（12.15）						
10	〇プレゼンテーション、講評(12.22)						
11	【第3課題／紙袋のデザイン】課題発表、導入、リサーチ（1.5）						
12	制作2（1.19）						
13	制作3（1.26）						
14	制作4（2.2）						
15	〇プレゼンテーション、講評(2.9)						
評価方法	評価基準	4		①筆記試験 ②口述試験 ③レポート審査 ④作品・技術審査 ⑤その他			
	作品評価と出席率、授業意欲態度						
教科書	なし						
参考書	なし						
備考	メッセージ、オフィスパワー						
	身近なものをデザインします。普段から世に出ているデザインを観察してください。						

広告デザイン専門学校 2025年度 後期シラバス

授業年度	2025	学年	1	グループ	選択	曜日時限	火曜午前・木曜午後
授業科目	マーケティングデザイン1（マーケティングデザイン専攻）					単位数	2
担当教員	安藤誠一郎					教室	2階教室orA303教室
授業形態	講義・演習・実習					科目系統	実践科目

授業目標	観点	②・④	①知識・理解 ②思考・判断 ③関心・意欲 ④技能・表現 ⑤その他
	①商業におけるデザインの役割を理解できる。②デザインの力で問題解決に繋げることができる。③他者に理解してもらえる分かりやすい伝え方を身に付けることができる。商品、商戦、商空間、商環境。商業におけるデザイナーの仕事は、目的や必要性について深く考え明解に意図されたプロセス構築することが大切です。ブランディングから販売促進、広告戦略まで、人と社会とのコミュニケーションをデザインすることを目的とした授業です。		

授業計画方法	商業という切り口でヒトを取り巻くコトとモノを創造するデザイン。目的、必要性、コンセプト、切り口、メッセージ、表現、展開。あらゆる可能性を考えながら媒体表現までをトータルデザインするために、リサーチ→問題定義→課題発見→課題解決へのアプローチ→アイデアの創出→デザインスケッチ→完成度を高めるフィニッシュワークといった流れを抑えたデザインワークを実践します。
--------	--

回/セクション	授業内容・方法
1	第1週：価値の創造／マーケティングとデザインの本質／集客と導線・販売促進
2	第2週：ブランディングデザイン／広告戦略とメディア表現
3	第3週：オリエンテーションとテーマ設定／リサーチ
4	第4週：調査結果に基づくアイデアの考案／アイデアと企画の整理。問題解決へのアプローチ。
5	第5週：解決手法のテーマに基づき調査した事例を発表する。
6	第6週：コンセプトワーク／コンセプトシートの作成
7	第7週：ビジュアル制作__アイデアとデザインスケッチ（サムネイル・ラフスケッチ）の確認1。
8	第8週：ビジュアル制作__アイデアとデザインスケッチ（サムネイル・ラフスケッチ）の確認2。
9	第9週：ビジュアル制作
10	第10週：プレゼン資料まとめ__テーマ、コンセプト、デザインスケッチのまとめ。伝える為に必要なことをまとめる。
11	第11週：中間発表__コンセプト、スケッチなどまとめたファイル（投影・紙面）によりプレゼンテーションを行う。講評とディスカッションにて検証を行う。
12	第12週：プレゼンテーションまとめ
13	第13週：プレゼンテーションまとめ／物理制作
14	第14週：物理制作
15	第15週：物理制作／最終プレゼン

評価方法	評価基準	④	①筆記試験 ②口述試験 ③レポート審査 ④作品・技術審査 ⑤その他
	出席率、プロセス、プレゼンテーションツール、制作物の平均点で評価する。		

教科書	都度必要な資料を講師が適宜用意する。
参考書	授業中、または次回授業までに適宜指示する。

備考	メッセージ、オフィシアワー
	他の授業と比較すれば時間数は多いが、内容的にはタイトなスケジュールとなるため毎回着実な歩みが必要です。いつでもというわけにはいきませんが、相談があれば気軽に声をかけてください。

広告デザイン専門学校 2025年度 後期シラバス							
授業年度	2025	学年	1	グループ	選択	曜日時限	月曜午後
授業科目	コミュニケーションデザイン1（マーケティングデザイン専攻）					単位数	1
担当教員	森俊博					教室	2階教室orA303教室
授業形態	講義・実習					科目系統	応用科目
授業目標	観点	② ③		①知識・理解 ②思考・判断 ③関心・意欲 ④技能・表現 ⑤その他			
	人の心を動かし、世の中を動かすための「アイデア」を考える基礎を学びます。商品や市場の課題の整理、ターゲットの設定、コンセプトやWhat to say（何を伝えるべきか）の考え方、インサイトの見つけ方などを、様々なメディアを想定した企画実習で身につけていきます。						
授業計画方法	講義や授業内でのワークショップ、実習は事前に提出した課題を授業内で講評および企画やアイデアについて個別指導を行います。						
回/セクション	授業内容・方法						
1	広告の仕事について 講義／実習（新聞コピー課題）						
2	What to say（何を言うか） と How to say（どう言うか）① / 講義&課題講評						
3	How to sayの飛躍／講義&課題実習 タグラインからキャッチコピーを考える／実習						
4	タグラインからキャッチコピーを考える／課題提出						
5	タグラインからキャッチコピーを考える／講評 キャッチコピーからビジュアルを考える／制作						
6	キャッチコピーからビジュアルを考える／課題提出						
7	キャッチコピーからビジュアルを考える／講評 コピーを軸にしたグラフィック広告企画／課題オリエンテーション						
8	コピーを軸にしたグラフィック広告企画／実習 企画チェック①						
9	コピーを軸にしたグラフィック広告企画／実習 企画チェック②						
10	コピーを軸にしたグラフィック広告企画／プレゼンテーション&講評						
11	コミュニケーション・デザインとは／講義 & 最終課題オリエンテーション						
12	最終課題 商品コミュニケーション企画／実習 企画チェック①						
13	最終課題 商品コミュニケーション企画／実習 企画チェック②						
14	最終課題 商品コミュニケーション企画／実習 企画チェック③						
15	最終課題 商品コミュニケーション企画／実習 プレゼンテーション&講評						
評価方法	評価基準	④		①筆記試験 ②口述試験 ③レポート審査 ④作品・技術審査 ⑤その他			
	出席率(20%) 提出物の評価(50%) 受講態度と意欲(30%)の総合評価						
教科書	講師が作成したプリント等。						
参考書							
備考	メッセージ、オフィシアワー						
	授業および課題の進行具合により授業内容は変更する可能性があります。						

広告デザイン専門学校 2025年度 後期シラバス							
授業年度	2025	学年	1	グループ	全体	曜日時限	月曜午前
授業科目	デスクトップパブリッシング1A					単位数	1
担当教員	太田米香					教室	2階教室
授業形態	演習・実習					科目系統	応用科目
授業目標	観点	1、4		①知識・理解 ②思考・判断 ③関心・意欲 ④技能・表現 ⑤その他			
	実際のチラシ等の模倣を中心に制作し、前期のDTPの授業で習得した技術がどのように活かされるのかを実感する。						
授業計画方法	実際に流通するチラシのデザインを模倣、それに対して実演説明することで技術を習得する。また紙面の構成や紙面に対する文字の大きさ等、デザイン制作においての感覚を身につける。						
回/セクション	授業内容・方法						
1	「チラシ1」模倣制作／演習&制作（A4）						
2	「チラシ1」模倣制作／演習&制作（A4）						
3	「チラシ1」模倣制作／演習&制作（A4）						
4	制作したデータの確認						
5	授業に対する姿勢、データ確認、提出制作物等						
6	「チラシ2」模倣制作／演習&制作（A4）						
7	「チラシ2」模倣制作／演習&制作（A4）						
8	制作したデータの確認						
9	「ポスター」模倣制作／演習&制作（B2）						
10	「ポスター」模倣制作／演習&制作（B2）						
11	制作したデータの確認						
12	「チラシの作り替え」A4両面デザイン制作						
13	「チラシの作り替え」A4両面デザイン制作						
14	「チラシの作り替え」A4両面デザイン制作						
15	「チラシの作り替え」A4両面デザイン制作						
評価方法	評価基準	4		①筆記試験 ②口述試験 ③レポート審査 ④作品・技術審査 ⑤その他			
	課題ごとにプリントを制作します。出力よろしく願いいたします。						
教科書							
参考書							
備考	メッセージ、オフィシアワー						
	課題ごとにプリントを制作します。出力よろしく願いいたします。						

広告デザイン専門学校 2025年度 後期シラバス							
授業年度	2025	学年	1	グループ	全体	曜日時限	木曜午前
授業科目	デスクトップパブリッシング1B					単位数	1
担当教員	福元紀子					教室	2階教室
授業形態	演習・実習					科目系統	応用科目
授業目標	観点	1～4		①知識・理解 ②思考・判断 ③関心・意欲 ④技能・表現 ⑤その他			
	前半：原稿の指示通りの印刷物を作れるようにする。 後半：自分で考えて印刷物を作れるようにする。						
授業計画方法	実際にあるパターンの印刷物を参考に、とくに必要なIllustratorとPhotoshopの使い方を身につける。						
回/セクション	授業内容・方法						
1	チラシ作成 1（テキスト入力、下絵、ケイ線、レイヤー、ガイド）						
2	チラシ作成 1（テキスト入力、下絵、ケイ線、レイヤー、ガイド）						
3	チラシ作成 3（文字校正、交差法の活用）						
4	チラシ作成 4						
5	カタログ修正 1						
6	カタログ修正 2						
7	カタログ修正 3						
8	ポストカード 1（年賀状またはクリスマスカードの作成。トンボー文字校正） 切手代63円が必要です。						
9	ポストカード 2						
10	ポストカード 3						
11	不動産チラシ 制作 1（下絵スキャン、間取り図トレース）						
12	不動産チラシ 制作 2						
13	不動産チラシ 制作 3						
14	名刺作成 1						
15	名刺作成 2						
評価方法	評価基準	2・4・5		①筆記試験 ②口述試験 ③レポート審査 ④作品・技術審査 ⑤その他			
	出席率(30%)、課題提出(30%)、受講態度(30%)、意欲(10%)の総合評価						
教科書	とくになし						
参考書	講師が作成したプリント等で補う。						
備考	メッセージ、オフィシアワー						
	説明を聞いてから作業しましょう。わからないことは遠慮せずに質問してください。左手はキーボード、右手はマウスを使いましょう。 ※進行具合で内容が前後する場合があります						

広告デザイン専門学校 2025年度 後期シラバス							
授業年度	2025	学年	1	グループ	全体	曜日時限	火曜午後
授業科目	ロジカルシンキング					単位数	1
担当教員	佐伯陽介					教室	2階教室
授業形態	講義・実習					科目系統	基礎科目
授業目標	観点	②③		①知識・理解 ②思考・判断 ③関心・意欲 ④技能・表現 ⑤その他			
	物事を論理的に考える能力を養い、広い視点や視野と深い洞察力を身につける。						
授業計画方法	論理的思考を段階的に学び、実習を通じて様々な課題を考える。また読解や文章力を身につける。						
回/セクション	授業内容・方法						
1	論理的思考のすすめ、論理的思考の学び方、言葉の意味を考える。						
2	具体的と具体例、目的と目標						
3	文章構成法						
4	論理の立て方：三段論法、帰納法、演繹補						
5	理論の立て方：適切な根拠						
6	論理の立て方：仮説形成						
7	MECE、ロジックツリー						
8	抽象的思考						
9	批判的思考						
10	情報の考え方						
11	マッピング1						
12	マッピング2						
13	アイデア発想法						
14	プロセスを考える						
15	問題解決						
評価方法	評価基準	⑤		①筆記試験 ②口述試験 ③レポート審査 ④作品・技術審査 ⑤その他			
	出席(30%)受講態度(25%)受講意欲(25%)課題(20%)で総合的に評価する。						
教科書	毎回教材を配布する						
参考書							
備考	メッセージ、オフィシアワー						
	ロジカルシンキングは日々の積み重ねで身に着きます。段階的に見につけるための内容なので、講義に積極的に参加し、自発的に取り組むこと。講義の後、疑問などがあれば遠慮せず質問してください。						

広告デザイン専門学校 2025年度 後期シラバス							
授業年度	2025	学年	1	グループ	全体	曜日時限	水曜午前
授業科目	フォトレタッチ					単位数	1
担当教員	安藤誠一郎					教室	2階教室
授業形態	講義・実習					科目系統	基礎科目
授業目標	観点	①・④		①知識・理解 ②思考・判断 ③関心・意欲 ④技能・表現 ⑤その他			
	Adobe Photoshopの基本操作を学び、撮影した写真を必要とされる画像に変えるための初歩的なレタッチ（修正）を習得する。						
授業計画方法	レタッチの基本要素(サイズ調整)(色調補正)(修正)(合成)を簡潔にレクチャー／実践的に演習を行い扱いに慣れる。						
回/セクション	授業内容・方法						
1	フォトレタッチとは／フォトショップ基本（画像サイズ（解像度）とトリミング）						
2	色調補正（適正露出）						
3	色調補正（色彩による演出）						
4	加筆と消去（ゴミとり）						
5	加筆と消去（描画）						
6	簡易合成						
7	チャンネル（プロセスカラー分解）						
8	チャンネル（選択範囲とマスク範囲の境界）						
9	画像合成（竣工写真のレタッチ1）						
10	画像合成（竣工写真のレタッチ2）						
11	画像合成（顔のレタッチ／フォトモンタージュ）						
12	描画合成（写真を使わない合成画像）						
13	ビジュアル作品制作（シュールリアリズム）						
14	ビジュアル作品制作（シュールリアリズム）						
15	ビジュアル作品講評						
評価方法	評価基準	④		①筆記試験 ②口述試験 ③レポート審査 ④作品・技術審査 ⑤その他			
	出席率(30%)理解度(30%)受講態度(30%)意欲(10%)の総合評価						
教科書	DTP教科書						
参考書	適宜紹介						
備考	メッセージ、オフィスアワー						
	1回1回が重要な為、なるべく休まないこと。わからないときは直ぐに質問すること。						

広告デザイン専門学校 2025年度 後期シラバス							
授業年度	2025	学年	1	グループ	全体	曜日時限	水曜午後
授業科目	WEBデザイン1					単位数	1
担当教員	酒井陽一					教室	2階教室
授業形態	講義・実習					科目系統	基礎科目
授業目標	観点	①④		①知識・理解 ②思考・判断 ③関心・意欲 ④技能・表現 ⑤その他			
	WEBサイトに関する基本的な知識と構築の基礎。業務としてのWEBのデザイナー体験。 WEBサイトデザインとHTML構築の実績。						
授業計画 方法	HTMLの理解やWEBサイトの設計、専用アプリケーションの操作など、WEB制作の流れをひと通り体験する。						
回/セクション	授業内容・方法						
1	自己紹介。オリエンテーション（WEBデザインとは ブラウザ・HTMLとは）						
2	Photoshop、Illustrator、XDを使用した1ページWEBサイトデザイン体験（既存のWEBサイトをリニューアルする想定で、XDを使用して写真・原稿を配置）						
3	XDを使用した1ページWEBサイトデザイン体験（1）						
4	XDを使用した1ページWEBサイトデザイン体験（2）						
5	■前半／XDを使用した1ページWEBサイトデザイン体験（3） ■後半／XDの共有機能の説明と体験（クラスメートのデザインしたサイトに書き込む体験）						
6	XDを使用した複数ページのWEBデザイン体験（1） （XDを使用してワイヤーフレームを作成）						
7	XDを使用した複数ページのWEBデザイン体験（2） （ワイヤーフレームをベースにデザインを制作）						
8	■XDを使用した複数ページのWEBデザイン体験（3） ■後半／XDの共有機能の説明と体験（クラスメートのデザインしたサイトに書き込む体験）						
9	簡単なHTML体験。HTMLとCSSの理解						
10	1ページWEBサイト制作。HTMLテンプレートを使ったデザインと実装（1）						
11	■前半／1ページWEBサイト制作。HTMLテンプレートを使ったデザインと実装（2） ■後半／FTPサーバーへのアクセスとアップロード体験						
12	HTMLテンプレートを使ったデザインと実装（1）						
13	HTMLテンプレートを使ったデザインと実装（2）						
14	HTMLテンプレートを使ったデザインと実装（3）						
15	まとめ（使用アプリケーションの説明などの復習）						
評価方法	評価基準	③④⑤		①筆記試験 ②口述試験 ③レポート審査 ④作品・技術審査 ⑤その他			
	出席率（40％） 制作物に対する評価（30％） WEBに関する探究心（20％） 受講態度（10％）						
教科書	使用するテンプレート等は授業時に配布						
参考書	参考になるWEBサイト等は授業時に配布						
備考	メッセージ、オフィシアワー						
	毎日のように利用するWEBサイト。静止画ベースのグラフィックデザインとは違い、クリックしたり、映像が動いたり、ページを移動したりと、様々な要素があります。使う側から作る側へ視点を変えてみましょう。						

広告デザイン専門学校 2025年度 後期シラバス							
授業年度	2025	学年	1	グループ	全体	曜日時限	金曜午前
授業科目	モーショングラフィックス					単位数	1
担当教員	浅野禎之					教室	2階教室
授業形態	講義・実習					科目系統	基礎科目
授業目標	観点	① ④		①知識・理解 ②思考・判断 ③関心・意欲 ④技能・表現 ⑤その他			
	授業課題の制作を通して、映像制作に必要な知識と技術の基礎を習得する。						
授業計画方法	映像制作に必須のアプリケーション(Premiere、After Effects)の操作方法と、グラフィックアプリケーションとの連携を、制作を通じて学ぶ。						
回/セクション	授業内容・方法						
1	Premiere / After Effects 基礎 実習1 (キーフレームによるアニメーション)						
2	実習2-1 (AE：レイヤーの親子づけ)						
3	実習2-2 (AE：レイヤーの親子づけ)						
4	実習3-1 (AE：トラックマット)						
5	実習3-2 (AE：トラックマット)						
6	実習4-1 (AE：マスク)						
7	実習4-2 (AE：マスク)						
8	実習5-1 (AE：キャラクターアニメーション)						
9	実習5-2 (AE：キャラクターアニメーション)						
10	実習6-1 (PREMIERE：カット編集)						
11	実習6-2 (PREMIERE：カット編集)						
12	実習7-1 (PREMIERE /AE：台本に沿った編集)						
13	実習7-2 (PREMIERE /AE：台本に沿った編集)						
14	実習8-1 (PREMIERE /AE：15秒CM)						
15	実習8-2 (PREMIERE /AE：15秒CM)						
評価方法	評価基準	⑤		①筆記試験 ②口述試験 ③レポート審査 ④作品・技術審査 ⑤その他			
	出席率、受講態度の総合評価。						
教科書	授業内容に応じて作成するプリント等で行う						
参考書							
備考	メッセージ、オフィシアワー						

広告デザイン専門学校 2025年度 後期シラバス							
授業年度	2025	学年	1	グループ	全体	曜日時限	金曜午後
授業科目	エディトリアルデザイン					単位数	1
担当教員	中山雅人					教室	2階教室
授業形態	講義・演習・実習					科目系統	基礎科目
授業目標	観点	4		①知識・理解 ②思考・判断 ③関心・意欲 ④技能・表現 ⑤その他			
	本・書籍の基礎知識を学びつつ、InDesignの操作方法を覚え、最終的には自身の考えたコンテンツの小冊子を制作します。クリエイターは、デザインに関して多くの「アイデアの引き出し」を持つことが大切です。この授業では、さまざまなデザインをどんどん実践しながら学んでいきます。また実習だけでなく、実際に現場で使えるテクニックや知識、業界の仕組み、裏話なども交えて解説し、理解を深めます。雑誌・本を作る楽しさを少しでも知ってもらえたらと思います。						
授業計画方法	課題ごとにテーマに沿ったレイアウトを制作→講習会で発表し、学生同士で採点						
回/セクション	授業内容・方法						
1	InDesign基礎(1) + InDesignとは？ 雑誌・書籍の特性、名称、広告との違いなどの講義						
2	InDesign基礎(2) + 業界で実際“使える”ショートカットキーやテクニックなどの講義						
3	InDesign操作：レイアウト（既存レイアウトの問題点を見つけ、改善してみる）						
4	InDesign応用：レイアウト①（紙面の構成要素を整理し、ラフを描き、実際にデザインする）						
5	InDesign応用：レイアウト①（紙面の構成要素を整理し、ラフを描き、実際にデザインする）						
6	InDesign応用：レイアウト①（紙面の構成要素を整理し、ラフを描き、実際にデザインする）						
7	InDesign応用：レイアウト②（紙面の構成要素を整理し、ラフを描き、実際にデザインする）						
8	InDesign応用：レイアウト②（紙面の構成要素を整理し、ラフを描き、実際にデザインする）						
9	InDesign応用：レイアウト②（紙面の構成要素を整理し、ラフを描き、実際にデザインする）						
10	InDesign実習制作：プロフィール冊子（4P）制作 〈構成アイデア出し・ラフ描き〉						
11	InDesign実習制作：プロフィール冊子（4P）制作						
12	InDesign実習制作：プロフィール冊子（4P）制作						
13	InDesign実習制作：プロフィール冊子（4P）制作						
14	InDesign実習制作：プロフィール冊子（4P）制作						
15	InDesign実習制作：プロフィール冊子（4P）制作→提出 品評会						
評価方法	評価基準	4		①筆記試験 ②口述試験 ③レポート審査 ④作品・技術審査 ⑤その他			
	出席率(30%)、作品の評価(40%)、受講態度・意欲(30%)の総合評価						
教科書	講師が作成したプリント等で補う。						
参考書							
備考	メッセージ、オフィスアワー						
	金曜日の授業後は時間をとれるので、質問等どんどん受け付けます！楽しくデザインしていきましょう！						

広告デザイン科 2 年次

広告デザイン専門学校 2025年度 後期シラバス							
授業年度	2025	学年	2	グループ	選択	曜日時限	月曜木曜午前・火曜金曜午後
授業科目	卒業制作（ビジュアルデザイン専攻）					単位数	4
担当教員	岩田和樹					教室	4階教室
授業形態	実技・講義					科目系統	専門科目
授業目標	観点	② ③ ④		①知識・理解 ②思考・判断 ③関心・意欲 ④技能・表現 ⑤その他			
	自身が専攻した後期主軸科目として「デザイナーズワークフロー（各期限に基づいたデザイナーの仕事の流れ）」に徹し、最良を尽くす。 「即戦力となるデザイナーになれること」をアピールできる、2年間の学び、技術や技能を学び得たと、作品を通して証明する。						
授業計画方法	後期科目「VD2」は、ビジュアルデザインクラスの「卒業制作」の時間となる。「伝達の技術者」＝デザイナーという専門職に就く意欲を持った、専修学校生としての集大成を目指す。						
回/セクション	授業内容・方法						
1	1週目）課題「卒業制作」ガイダンス・オリエンテーション						
2	2週目）目指す表現と、テーマ内容を交えた発案①						
3	3週目）目指す表現と、テーマ内容を交えた発案②						
4	ラフスケッチとしてまとめたものを提出（採点対象）						
5	5週目）制作①						
6	6週目）制作②						
7	7週目）制作③						
8	8週目）制作④						
9	9週目）制作⑤						
10	10週目）制作⑥						
11	11週目）制作⑦						
12	終盤講評会（採点対象）						
13	13週目）制作（ポリッシュアップ）						
14	14週目）制作（ポリッシュアップ）						
15	15週目）制作（ポリッシュアップ）※2026年1月中に制作終了 最終講評会（採点対象）						
評価方法	評価基準	③ ④ ⑤		①筆記試験 ②口述試験 ③レポート審査 ④作品・技術審査 ⑤その他			
	「デザイナーズワークフロー（範囲に基づいたデザイナーの仕事の流れ）」による、各プロセスの進行採点の平均点＋完成作品、						
教科書	「タイポグラフィ・ベーシック」「グラフィックデザイン・イン・ジャパン（事務局又は2階図書コーナー）」「東京ADC年鑑（事務局又は2階図書コーナー）」						
参考書	適時、関連資料を提供						
備考	メッセージ、オフィシアワー						
	前期、デザイナーとしてのワークフローが定着できなかったことで、専攻全体が苦戦したと考えている。 現時点で「ワークフロー」を守ることは絶対である。プラスαに届く制作を目指し、制作意識の変化に期待する。						

広告デザイン専門学校 2025年度 後期シラバス							
授業年度	2025	学年	2	グループ	選択	曜日時限	木曜午後
授業科目	ビジュアルデザイン2B（ビジュアルデザイン専攻）					単位数	1
担当教員	星野公作					教室	4階教室
授業形態	演習・実習					科目系統	実践科目
授業目標	観点	4		①知識・理解 ②思考・判断 ③関心・意欲 ④技能・表現 ⑤その他			
	デザインの世界では「売れるもの」が一つの正解とされがちですが、この授業では制作者としての技量と個人の世界観を深く掘り下げることが重視されます。制作者の表現を突き詰めた結果として、顧客の興味や共感を呼び起こす作品を目指していきます。						
授業計画方法	課題発表→リサーチ→草案→制作→プレゼン講評の流れとなります。						
回/セクション	授業内容・方法						
1	授業ガイダンス○CDジャケット制作の導入(10.2)						
2	草案チェック(10.9)						
3	制作1 (10.16)						
4	制作2 (10.23)						
5	制作3 (10.30)						
6	●プレゼン&講評 (11.6)						
7	○アパレルデザイン（Tシャツ・パーカーなどSUZURIで販売）導入(11.3)						
8	草案チェック(11.20)						
9	制作1 (11.27)						
10	制作2 (12.4)						
11	制作3 (12.11)						
12	●プレゼン&講評 (12.18)						
13	○ショップカードデザイン導入(1.8)						
14	制作1 (1.15)						
15	●プレゼン&講評 (1.22)						
評価方法	評価基準	4		①筆記試験 ②口述試験 ③レポート審査 ④作品・技術審査 ⑤その他			
	作品の出来の評価のほか、プロセス・授業取り組み姿勢意欲も評価対象にします。						
教科書	なし						
参考書	なし						
備考	メッセージ、オフィシアワー						
	これからの時代を担うクリエイターには、新しい価値観と魅力的な個人の世界観を持つことが大切だと考えています。						

広告デザイン専門学校 2025年度 後期シラバス							
授業年度	2025	学年	2	グループ	選択	曜日時限	火曜午前
授業科目	セールスプロモーション（ビジュアルデザイン専攻）					単位数	1
担当教員	戸谷吉希					教室	4階教室
授業形態	講義・演習・実習					科目系統	専門科目
授業目標	観点	3・4		①知識・理解 ②思考・判断 ③関心・意欲 ④技能・表現 ⑤その他			
	ブランドが届くように生活者へ翻訳する〈ブランドの翻訳家〉 講義の目的：①自分の引き出しをつくる・広げる②作品ポートフォリオにのせて効果的な制作物③企業にあるブランドパーパスの大切さ④伝え方、言い方を覚える⑤いくつもの答えを見つける						
授業計画方法	企業ブランドを踏まえて、自分のアイデアを出し、他人のアイデアも学び、次に活かし続けていく。						
回/セクション	授業内容・方法						
1	「プレゼントキャンペーン」をアイデアする①						
2	「プレゼントキャンペーン」をアイデアする②						
3	「ビジュアル&コピー」をアイデアする。①						
4	「ビジュアル&コピー」をアイデアする。②						
5	「タレントキャスティング」をアイデアする。①						
6	「タレントキャスティング」をアイデアする。②						
7	「店頭POP」をアイデアする。①						
8	「店頭POP」をアイデアする。②						
9	「キャラクター」をアイデアする。①						
10	「キャラクター」をアイデアする。②						
11	「広告媒体」をアイデアする①						
12	「広告媒体」をアイデアする②						
13	「固定概念を壊す」をアイデアする①						
14	「書籍の帯」をアイデアする。						
15	「固定概念を壊す」をアイデアする②						
評価方法	評価基準	4		①筆記試験 ②口述試験 ③レポート審査 ④作品・技術審査 ⑤その他			
	出席率(30%)作品の評価(30%)受講態度(30%)意欲(10%)の総合評価						
教科書							
参考書							
備考	メッセージ、オフィシアワー						
	質問は随時受け付けます。なるべく実践に近い形で行います。時間外学習は基本なしにします。 (短時間でアイデア出しメイン)						

広告デザイン専門学校 2025年度 後期シラバス							
授業年度	2025	学年	2	グループ	選択	曜日時限	水曜午前
授業科目	インフォグラフィックス（ビジュアルデザイン専攻）					単位数	1
担当教員	山岸美紗					教室	4階教室
授業形態	講義・実習					科目系統	応用科目
授業目標	観点	2. 4		①知識・理解 ②思考・判断 ③関心・意欲 ④技能・表現 ⑤その他			
	インフォグラフィックスの基礎を学び、情報を適切に収集・整理する視点、伝わりやすいデザイン表現について、課題制作を通して理解を深めることを目標とする。言葉に頼らないメッセージの伝達方法を工夫して考え、視覚表現に落とし込む。						
授業計画方法	前半は表現手法について講義形式で学んだ上で、テーマに沿った小規模なグラフィックを授業内で制作する1-2回完結型の形式が基本。Classroomを通してその場で提出、学生同士が互いの制作物を講評し合って学びを深める。後半はリサーチを含めたグラフィックワークを制作する。						
回/セクション	授業内容・方法						
1	[講義]インフォグラフィックスの概要・手法について／[制作演習]言葉を用いない棒グラフのデザイン						
2	[制作演習]グラフのデザイン						
3	[制作演習]ダイアグラムのデザイン						
4	[制作演習]ピクトグラムのデザイン						
5	[制作演習]表のデザイン						
6	[制作演習]チャートのデザイン①						
7	[制作演習]チャートのデザイン②						
8	[制作演習]マップのデザイン①						
9	[制作演習]マップのデザイン②						
10	[課題制作]「比較でメッセージを伝える」①…日本と他の国を比較し、メッセージを伝えるインフォグラフィックスを制作する／概要説明及びリサーチ						
11	[課題制作]「比較でメッセージを伝える」②…実制作						
12	[課題制作]「比較でメッセージを伝える」③…完成～プレゼンテーション						
13	[課題制作]「言葉を用いずにメッセージを伝える」①…任意の社会問題をテーマに設定し、言葉を用いずに社会的なメッセージが伝わるようなインフォグラフィックスを制作する／概要説明及びリサーチ						
14	[課題制作]「言葉を用いずにメッセージを伝える」②…実制作						
15	[課題制作]「言葉を用いずにメッセージを伝える」③…完成～プレゼンテーション						
評価方法	評価基準	4		①筆記試験 ②口述試験 ③レポート審査 ④作品・技術審査 ⑤その他			
	出席率（30%）、作品の評価（45%）、受講態度（15%）、意欲(10%)の総合評価						
教科書	講師が作成したスライドのPDFを共有して補う						
参考書							
備考	メッセージ、オフィスパワー						

広告デザイン専門学校 2025年度 後期シラバス							
授業年度	2025	学年	2	グループ	選択	曜日時限	月曜午後
授業科目	デスクトップパブリッシング2（ビジュアルデザイン専攻）					単位数	1
担当教員	太田米香					教室	4階教室
授業形態	演習・実習					科目系統	実践科目
授業目標	観点	1. 4		①知識・理解 ②思考・判断 ③関心・意欲 ④技能・表現 ⑤その他			
	1年生で学んだDTPの基礎から応用へ。 誰もが見て理解できるデータ作りの心がけを中心に制作。学生間でお互いにデータを確認しあうことで、正しいデータ制作を習得する。						
授業計画方法	課題ごとに、制作（テスト）→学生同士のデータ確認&採点（講義）						
回/セクション	授業内容・方法						
1	「地図」制作						
2	「地図」制作／採点&修正						
3	「ハガキサイズ」制作						
4	「ハガキサイズ」制作／採点&修正&講義						
5	「雑誌広告」の制作						
6	「雑誌広告」／採点&修正&講義						
7	「A4サイズ」制作						
8	「A4サイズ」制作						
9	「A4サイズ」制作／採点&修正&講義						
10	「ポスター」制作						
11	「ポスター」制作／採点&修正						
12	「A4サイズデザイン組み換え」制作						
13	「A4サイズデザイン組み換え」制作						
14	「A4サイズデザイン組み換え」制作						
15	「A4サイズデザイン組み換え」制作／採点&修正&講義						
評価方法	評価基準	4		①筆記試験 ②口述試験 ③レポート審査 ④作品・技術審査 ⑤その他			
	授業の姿勢、採点点数						
教科書							
参考書							
備考	メッセージ、オフィシアワー						
	課題ごとにプリントを制作します。出力よろしくお願ひいたします。						

広告デザイン専門学校 2025年度 後期シラバス							
授業年度	2025	学年	2	グループ	選択	曜日時限	月曜木曜午前・火曜金曜午後
授業科目	卒業制作（マーケティングデザイン専攻）					単位数	4
担当教員	安藤誠一郎					教室	3階教室
授業形態	実習					科目系統	専門科目
授業目標	観点	②・④		①知識・理解 ②思考・判断 ③関心・意欲 ④技能・表現 ⑤その他			
	①商業におけるデザインの役割を理解できる。 ②デザインの力で問題解決に繋げることができる。 ③他者に理解してもらえる分かりやすい伝え方を身に付けることができる。 広告デザインを学ぶ2年間の集大成として、広告企画制作を通して広告戦略と制作実習の成果を表すことを目標とします。						
授業計画方法	商業という切り口でヒトを取り巻くコトとモノを創造するデザイン。目的、必要性、コンセプト、切り口、メッセージ、表現、展開。あらゆる可能性を考えながら媒体表現までをトータルデザインするために、リサーチ→問題定義→課題発見→課題解決へのアプローチ→アイデアの創出→デザインスケッチ→完成度を高めるフィニッシュワークといった流れを抑えたデザインワークを実践します。						
回/セクション	授業内容・方法						
1	第1週：（社会問題）オリエンテーション／現状と企画テーマに対する調査						
2	第2週：企画テーマに対する調査/リサーチレポート(リサーチ内容の発表)						
3	第3週：調査結果に基づくアイデアの考案／アイデアと企画の整理。問題解決へのアプローチ。 コンセプトワークとアイデアスケッチ(コンセプトシート提出)						
4	第4週：（商業問題）オリエンテーション／現状と企画テーマに対する調査						
5	第5週：企画テーマに対する調査/リサーチレポート(リサーチ内容の発表)						
6	第6週：調査結果に基づくアイデアの考案／アイデアと企画の整理。問題解決へのアプローチ。 コンセプトワークとアイデアスケッチ(コンセプトシート提出)						
7	第7週：ビジュアル制作__アイデアとデザインスケッチ（サムネイル・ラフスケッチ）の確認1。						
8	第8週：ビジュアル制作__アイデアとデザインスケッチ（サムネイル・ラフスケッチ）の確認2。						
9	第9週：ビジュアル本制作						
10	第10週：ビジュアル本制作 プレゼン資料まとめ__テーマ、コンセプト、デザインスケッチのまとめ。伝える為に必要なことをまとめる。						
11	第11週：中間発表__コンセプト、スケッチなどまとめたファイル（投影・紙面）によりプレゼンテーションを行う。 講評とディスカッションにて検証を行う。						
12	第12週：プレゼンテーションまとめ／物理制作(ボード・モックアップ・模型)						
13	第13週：プレゼンテーションまとめ／物理制作(ボード・モックアップ・模型)						
14	第15週：物理制作（モックアップ）						
15	第15週：最終プレゼン／修正						
評価方法	評価基準	③・④		①筆記試験 ②口述試験 ③レポート審査 ④作品・技術審査 ⑤その他			
	出席率、プロセス、プレゼンテーションツール、制作物の平均点で評価する。						
教科書	特になし						
参考書	進行により、その都度紹介する。						
備考	メッセージ、オフィシアワー						
	他の授業と比較すれば時間数は多いが、内容的にはタイトなスケジュールとなるため次回授業までの調査、自主学習、授業の準備を欠かさないこと。すべての課題に1〜2回のプレゼンテーションがあります。作品の善し悪しも重要だが、制作行程の順守が最も重要です。						

広告デザイン専門学校 2025年度 後期シラバス							
授業年度	2025	学年	2	グループ	選択	曜日時限	月曜午後
授業科目	ソーシャルデザイン（マーケティングデザイン専攻）					単位数	1
担当教員	清水夏樹					教室	3階教室
授業形態	講義・実習					科目系統	実践科目
授業目標	観点	②③		①知識・理解 ②思考・判断 ③関心・意欲 ④技能・表現 ⑤その他			
	①加速度的に変化する市場に対して、社会課題解決型のデザインをゼロイチ思考で企画開発する体験をします。 ②AIが急速に発展するこれから、社会に出てからそれぞれが個の在り方を発信できるよう、2枚目の名刺を作ります。						
授業計画方法	結果より『考える時間』を重視します。一つ目の課題は、個人で企画することから始め、仲間にプレゼンテーション、その後グループで一案に絞り、グループでの共同開発へと進みます。						
回/セクション	授業内容・方法						
1	前期科目のおさらい						
2	課題提示①：紙市場の未来と紙市場がつくる未来						
3	リサーチ・ディスカッション：紙市場について（個人・グループワーク）						
4	リサーチ・ディスカッション：紙市場と社会課題（個人・グループワーク）						
5	テーマ決定・プランニング・企画書まとめ（個人ワーク）						
6	企画書まとめ・個人テーマプレゼンテーション						
7	グループディスカッション・グループテーマへの絞り込み						
8	ディスカッション（グループワーク）						
9	グループテーマ中間プレゼンテーション・中間講評						
10	グループ制作						
11	グループ制作						
12	プレゼンテーション（グループ） 課題提示②：2枚目の名刺						
13	ディスカッション						
14	名刺制作						
15	名刺交換回（社会人講師参加予定）						
評価方法	評価基準	③⑤		①筆記試験 ②口述試験 ③レポート審査 ④作品・技術審査 ⑤その他			
	興味や探究心のあるディスカッションやプレゼンテーションに期待しています。						
教科書	特になし						
参考書	特になし						
備考	メッセージ、オフィシアワー						
	結果以上に思考のプロセスを重視し、よりゼロイチでイノベティブな思考で、ソーシャルインパクトのあるデザインを意識して課題に取り組んでください。						

広告デザイン専門学校 2025年度 後期シラバス							
授業年度	2025	学年	2	グループ	選択	曜日時限	火曜午前
授業科目	ブランディングデザイン（マーケティングデザイン専攻）					単位数	1
担当教員	渡辺恭良					教室	3階教室
授業形態	講義・実習					科目系統	専門科目
授業目標	観点	1～4		①知識・理解 ②思考・判断 ③関心・意欲 ④技能・表現 ⑤その他			
	実際の仕事に近い内容を目指し、情報収集 ～ 企画立案 ～ 実制作まで自分のアイデアをプレゼン出来る事を目標とします。クライアントの商品やサービスを理解した上で、ゼロから発想して企画提案できる市場分析力＋発想力＋表現力を学びます。						
授業計画方法	アイテムを各自選択、情報収集～分析 販促企画立案～サムネイル製作～サンプル実制作～企画書完成までの中でデザイン総合力を身につける。						
回/セクション	授業内容・方法						
1	09/30 課題内容オリエン。 サンプル参照しつつ、アイテム選択、webでも街でもリサーチし資料収集。						
2	10/07 決定した広告アイテムの情報収集～販促企画のアイデアを考察し、競合の情報も収集。						
3	10/14 情報分析～販促企画のアイデアを考える。競合の分析研究も重要。						
4	10/21 上記の情報を元に販促アイデアとアイテム提案を出来るだけ多く考える。						
5	10/28 販促のアイデアとアイテムのサムネイル&コンセプト&調査資料等提出。						
6	11/04 前回の提出のサムネイル&コンセプト&調査資料をチェックし個別に返却。						
7	11/11 再検討後、企画内容の方向性と広告&アイテム決定へ						
8	11/18 決定した内容に応じて、広告&アイテムの実製作へサンプル						
9	11/25 各自の内容に応じて、個別に修正指示～企画書実製作						
10	12/02 各自の内容に応じて、個別に修正指示～企画書実製作						
11	12/09 各自の内容に応じて、個別に修正指示～企画書実製作						
12	12/16 上記までの全てを纏め、企画書 仮提出（サンプル等もカラー出力）						
13	01/06 前回仮提出の Kamp 修正指示～修正作業						
14	01/13 修正したものを随時チェック～アイテムのサンプル修正チェック						
15	01/20 確認～最終完成形提出へ						
評価方法	評価基準	4		①筆記試験 ②口述試験 ③レポート審査 ④作品・技術審査 ⑤その他			
	出席率(20%)・受講態度と意欲(20%)・作品の評価(60%)の総合評価						
教科書	特にないが入学時に購入した書籍など参考に 講師が作成したプリントや作例を参考に						
参考書	広告年鑑、コピー年鑑等、入学時に購入した書籍や新着図書等、目にして気になった、あらゆる資料。						
備考	メッセージ、オフィスアワー						
	選択した企業や製品のブランド力向上させる最善な企画提案ができる力を身につけましょう。						

広告デザイン専門学校 2025年度 後期シラバス							
授業年度	2025	学年	2	グループ	選択	曜日時限	水曜午前
授業科目	ユーザーインターフェイス（マーケティングデザイン専攻）					単位数	1
担当教員	向井真人					教室	3階教室
授業形態	講義・実習					科目系統	応用科目
授業目標	観点	1 3 5(創造性)		①知識・理解 ②思考・判断 ③関心・意欲 ④技能・表現 ⑤その他			
	洗練されたUIデザインを制作するには、まず『見ただけで使い方が分かる』のはなぜかを理解する必要がある。人の認知が『経験的に触れたことのある構造』に依存することから、現実世界に存在する道具についての考察も交えながら、Webやアプリのデザインといった、画面やタッチパネルで操作するUIをデザインするスキルを身に付けることを目指す。						
授業計画方法	「物理的構造の理解」「UIパーツの制作」「表示手法と情報の可視化」を学んだ上で、スマート家電のUIデザインに取り組み、プレゼンテーションする。デザインしたUIを初めて見る人に実際に操作してもらい、意図した操作が行えるかどうかの検証も行う。						
回/セクション	授業内容・方法						
1	ユーザーインターフェイスとは（講義）						
2	さまざまな道具を見てみよう（講義、実習）						
3	世の中の「使いにくい」を探してみよう（講義、実習）						
4	操作→作用→機能（講義、実習）						
5	UIパーツって何？（講義、実習）						
6	UIパーツのペーパープロトタイピング（実習）						
7	計測アプリを考える：機能編（実習）						
8	計測アプリを考える：UIパーツ編（実習）						
9	計測アプリを考える：画面デザイン編（実習）						
10	スマート家電：企画（講義、実習）						
11	スマート家電：UIデザイン(2)（実習）						
12	独自テーマ：企画（実習）						
13	独自テーマ：UIデザイン(2)（実習）						
14	独自テーマ：UIデザイン(3)（実習）						
15	独自テーマ：プレゼンテーション						
評価方法	評価基準	3 4		①筆記試験 ②口述試験 ③レポート審査 ④作品・技術審査 ⑤その他			
	レポート審査(50%) プレゼンテーションの評価(50%)						
教科書	講師が制作するテキスト						
参考書							
備考	メッセージ、オフィスアワー						
	講義と講義の合間で、いかに良きアンテナを立てておくかが実習をスムーズに進める鍵になります。						

広告デザイン専門学校 2025年度 後期シラバス							
授業年度	2025	学年	2	グループ	選択	曜日時限	木曜午後
授業科目	デスクトップパブリッシング2（マーケティングデザイン専攻）					単位数	1
担当教員	福元紀子					教室	3階教室
授業形態	演習・実習					科目系統	実践科目
授業目標	観点	1～5		①知識・理解 ②思考・判断 ③関心・意欲 ④技能・表現 ⑤その他			
	1年生で習ったことを復習しつつ、入稿しても恥ずかしくないデータに仕上げる。						
授業計画方法	実際によくあるパターンの印刷物を参考に、とくに必要なIllustratorとPhotoshopの使い方を身につける。 課題ごとに完成カンパとデータの提出（これをテストとします）						
回/セクション	授業内容・方法						
1	広デのオープンキャンパスのチラシを作成 1 ※良い作品は実際に使われます						
2	広デのオープンキャンパスのチラシを作成 2						
3	広デのオープンキャンパスのチラシを作成 3						
4	パンフレット制作 1						
5	パンフレット制作 2						
6	パンフレット制作 3						
7	ポストカード制作 1						
8	ポストカード制作 2						
9	ポストカード制作 3						
10	〇〇〇〇MAP制作 1 自分なりにまとめた地図を制作						
11	〇〇〇〇MAP制作 2						
12	〇〇〇〇MAP制作 3						
13	カレンダー制作 1						
14	カレンダー制作 2						
15	カレンダー制作 3						
評価方法	評価基準	4		①筆記試験 ②口述試験 ③レポート審査 ④作品・技術審査 ⑤その他			
	出席率（30%）、課題提出（30%）、受講態度（30%）、意欲（10%）の総合評価						
教科書	とくになし						
参考書	講師が作成したプリント等で補う。						
備考	メッセージ、オフィシアワー						
	説明を聞いてから作業しましょう。わからないことは遠慮せずに質問してください。左手はキーボード、右手はマウスを使いましょう。 ※進行具合で内容が前後する場合があります						

広告デザイン専門学校 2025年度 後期シラバス							
授業年度	2025	学年	2	グループ	全体	曜日時限	水曜午後
授業科目	コピーライティング2					単位数	1
担当教員	大原純子					教室	3階教室
授業形態	演習					科目系統	専門科目
授業目標	観点	1、2、4		①知識・理解 ②思考・判断 ③関心・意欲 ④技能・表現 ⑤その他			
	マルチメディア、デジタルメディア、販促ツールの特性や役割を考慮しながら、いかに伝え、訴求するのかを追究。広告における情報活動について論理的な展開力や実践的なスキルを身に付けます・						
授業計画方法	初回から3回にわたって、交通広告の特性を学び、エンターテインメントをテーマに展開を立案し、サムネール及び企画書を制作します。以降は、宣伝計画や表現計画の立案力養成を目的として、メディアミックスにおける表現計画の企画書を作成します。						
回/セクション	授業内容・方法						
1	交通広告の概要と各媒体について解説します。課題はエンダーテインメントをテーマに、広告貸切電車における宣伝展開と表現計画を制作し、企画書としてまとめます。						
2	交通広告～クライアントの設定と展開案を立案～						
3	交通広告～表現案と企画書を制作～						
4	メディアミックスの企画立案～クライアントの設定～						
5	メディアミックスの企画立案～表現計画の立案～						
6	メディアミックスの企画立案～表現計画の立案～						
7	メディアミックスの企画立案～表現計画の立案～						
8	メディアミックスの企画立案～表現計画の立案～						
9	メディアミックスの企画立案～表現計画の立案～						
10	メディアミックスの企画立案～表現計画の立案～						
11	メディアミックスの企画立案～表現計画の立案～						
12	メディアミックスの企画立案～企画書の作成～						
13	メディアミックスの企画立案～企画書の作成～						
14	メディアミックスの企画立案～企画書の作成～						
15	課題総仕上げ／著作権等、広告を取り巻く法規について						
評価方法	評価基準	4		①筆記試験 ②口述試験 ③レポート審査 ④作品・技術審査 ⑤その他			
	評価ポイント：オリジナリティと社会性を兼ね備えていること。						
教科書	講師作成のプリントを使います。						
参考書	特にありません。						
備考	メッセージ、オフィスアワー						
	メディアリテラシー、情報リテラシーを行い、バイアスのない作品制作を心がけましょう。						

広告デザイン専門学校 2025年度 後期シラバス							
授業年度	2025	学年	2	グループ	全体	曜日時限	金曜午前
授業科目	産学連携					単位数	1
担当教員	安藤誠一郎					教室	3階教室
授業形態	実習					科目系統	実践科目
授業目標	観点	③・④・⑤		①知識・理解 ②思考・判断 ③関心・意欲 ④技能・表現 ⑤その他			
	デザイン制作の基本は「共感する」⇨「課題を定義する」⇨「考える（アイデア発想）」⇨「考えたことをカタチにする」こと。クライアントやユーザーの問題に共感し、課題解決のアイデアで説得力のある提案し、社会に対して魅力を発信することを目標として制作を進める。						
授業計画方法	前半：西尾市デザイン共創プロジェクト課題2案件をグループ編成して進行する。 後半：イオンモールナゴヤドーム前との連携事業としてデザイン制作を行い制作展と同時開催する。						
回/セクション	授業内容・方法						
1	西尾市デザイン共創プロジェクト：企画テーマに対する調査/リサーチレポート(リサーチ内容の発表)						
2	調査結果に基づくアイデアの考案／アイデアと企画の整理。問題解決へのアプローチ。コンセプトワークとアイデアスケッチ(コンセプトシート提出)						
3	ビジュアル制作_アイデアとデザインスケッチ（サムネイル・ラフスケッチ）の確認1。						
4	ビジュアル制作_アイデアとデザインスケッチ（サムネイル・ラフスケッチ）の確認2。						
5	ビジュアル本制作						
6	ビジュアル本制作 プレゼン資料まとめ_テーマ、コンセプト、デザインスケッチのまとめ。伝える為に必要なことをまとめる。						
7	修正と仕上げ／最終プレゼン						
8	イオンモールナゴヤドーム前デザインプロジェクト：企画テーマに対する調査/リサーチレポート(リサーチ内容の発表)						
9	調査結果に基づくアイデアの考案／アイデアと企画の整理。問題解決へのアプローチ。コンセプトワークとアイデアスケッチ(コンセプトシート提出)						
10	ビジュアル制作_アイデアとデザインスケッチ（サムネイル・ラフスケッチ）の確認1。						
11	ビジュアル制作_アイデアとデザインスケッチ（サムネイル・ラフスケッチ）の確認2。						
12	ビジュアル本制作						
13	ビジュアル本制作 プレゼン資料まとめ_テーマ、コンセプト、デザインスケッチのまとめ。伝える為に必要なことをまとめる。						
14	修正と仕上げ／最終プレゼン						
15	展示のための準備						
評価方法	評価基準	④		①筆記試験 ②口述試験 ③レポート審査 ④作品・技術審査 ⑤その他			
	プロセス30点、制作物70点の割合で評価する。						
教科書	なし						
参考書	適宜						
備考	メッセージ、オフィスパワー						
	内容的にはタイトなスケジュールとなる上、外部との連携事業のため毎時間の進捗報告を欠かさないこと。先方に対し2回のプレゼンテーションがあります。制作物のクオリティはもちろんですが、制作行程の順守が最も重要です。授業に関係なく進行するため、随時相談に応じます。						